

『船舶ロスプリサービス』の全国展開開始
～船舶事故ゼロを目指して～

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：二宮 雅也、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、船舶の事故防止・軽減のためのコンサルティングサービス『船舶ロスプリサービス』の全国展開を2015年11月から開始しました。

1. サービス開発の背景

近年、船舶の大型化により、ひとたび船舶事故が発生すると、修繕期間が長期化し経営へ甚大な影響を与える傾向があります。また恒常的な船員不足による長時間労働やコンプライアンス遵守の対策など、現場負担が引き続き増大していることから、これに伴う船舶事故の増加も懸念されています。

実際、損保ジャパン日本興亜の保険金支払実績では、1事故あたりの損害額は増加傾向にあり、2009年から2013年までの5年間の平均で、前5年間より約27%増加しています。

これらを背景として、損保ジャパン日本興亜は2014年4月に東京・四国で本サービスの提供を開始し、ご契約者に好評を得たことから、2015年11月に全国展開を開始しました。

2. サービスの概要

（1）訪問セミナー、研修用DVDの提供

お客さまを訪問し、船舶事故が発生した際の初動対応を中心としたセミナーを実施します。また各種研修用DVDを提供します。

（2）船舶エンジン診断、エンジンに関する安全教育

エンジンコンサルタントが船舶エンジンの状態を診断し、1週間以内に診断結果の作成・改善提案を行います。またエンジンのメンテナンス等に関する個別質問にも回答します。

（3）乗組員に対する安全教育、乗船診断による事故防止提案

乗組員に対して安全運航に関する講習を実施します。また船内にカメラを設置し、その映像から乗組員の勤務態度を分析します。

（4）船舶運航支援システムの導入支援

GPSで察知した船舶の位置情報を自動記録し、航海日誌に活用できます。座礁する可能性の高い領域に入ったときに警告を発する機能を備えています。

3. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、お客さまの船舶安全運航を第一に考え、『船舶ロスプリサービス』の提供を通じて、事故防止・軽減への取組みを支援していきます。

以上